

## SSE - Super Science English -

**SSE = Speaking about Science is Enjoyable!**

SS English は1年7組を対象に、週に2時間、クラスを半分に分けて文法と会話をそれぞれ1時間ずつ学んでいます(1年1~6組で言う OCI の授業のようなものですね)。会話の授業では「月に一度は英語を使った活動」を目標に、Nick 先生の楽しい指導のもとに取り組んできました。また後期からは、英語を通して科学的知識を養う活動も実施中です。後期中間試験後は、科学分野の英語 Presentation にもチャレンジしていく予定です。

「英語を勉強する」? いいえ、「英語で勉強する」のです!

チャララチャッチャチャー♪毎回お決まりの BGM と共に始まる Listening Program “BNN”。ここでは Nick 先生がニュースキャスター風に科学ニュースを Live でお届けしています。ニュース原稿はすべてアメリカ本国で実際に放送された原稿と同じで、読み上げるスピードも実際のニュースの速さを意識しています。テーマは「中国の風力発電事業拡大中」や「絶滅の危機に瀕するサメ」と難しめですが、本場の英語を聞きどれだけ要点が掴めるか、毎週実践的なトレーニングを積んでいます。(ちなみに “BNN” とは米国ニュースチャンネル “CNN” から名付けたもので、“Broadcasting News with Nick Marchlewski” の略!)



英語でスピーチ/プレゼン/ディスカッション

頑張っています! ~1年7組の感想~

SSE でこれまで取り組んだ活動は、**Show and Tell** (“My treasure”), **Speech** (“The person I respect”), **Two-minute Presentation** (“Tour Guide”), **Guessing Game** (“My favorite / least favorite food”) などなど、どれも自分で英文を



考え、わかりやすく他者に伝えることを目的としています。ここで1年7組の感想を紹介します。

★英語の知識があっても実践できるかはまた別物。いままでにない経験ができてよかった。(羽中田 悠生)

★発表はクラスメイトの意欲などが強く感じられ、刺激になった。また機会があったら発表をしたい。(五十嵐 陽介)

★内容も工夫して文を作り、より伝わりやすい英文にする作業が難しかったけど、スラスラと話せたときはすごく楽しくて、またやりたいと思った。(飯田 かれら)

★英語で何かを伝えることがこんなに難しく大変だとは…。

でも楽しかったし、やり終えた後は達成感があった。(依田 夏輝)

★友達の前ゼンを見ることで色々な表現を知った。また、前ゼン原稿を作る時に調べた単語は、英単語のテキストとかで覚えた単語よりも頭に残っている気がする。(秋山 樹)

★みんなしっかり準備していて、良い発表が沢山あった。原稿をただ英訳するだけでなく、内容やアイコンタクト・発音などにもこだわらないと相手に伝わらないとわかった。(穴山 達也)

今回は、SS イングリッシュを担当されている、小宮先生からその様子をレポートしてもらいました。生徒たちの楽しんでいる様子が良く伝わってきますね。小宮先生サンキューです(^^)／

## 英語が開く、世界の扉

SNS (ソーシャルネットワークキング・サービス)

Twitter, Facebook、アメリカでは MySpace なんかも人気です。Web の世界では、世界との距離がどんどん縮まっています。扉の世界のすぐ向こうは、「世界」・・・ですね。

英語の苦手意識が染みついている生徒のみなさんもいると思います。が、改めて思うことは、英語って、世界とつながる重要なツールなんだよな・・・ってことです。別に科学の研究者にならなくても、その重要性は変わらない。日本の企業でも英語を社内の公用語？にしようという動きが加速しています。全然勉強しない日本の大学生より、英語が使えてコミュニケーションができる留学生や外国の大学生を採用しようする会社も増加している・・・なんて話もチラホラと聞こえてきます。(汗

このことは、将来あなたが職を得たときに、隣に日本人が座っているとは限らないということの意味します。様々な分野でスクラップ&ビルドが進む世界。グローバルゼーションの波は、今後とも日本を呑み込んでいくはず。「日本だけ」という内向き志向は通用しなくなりそうです。

生徒のみなさんはまだ若いのだから、間違いなく大脳に柔軟性があるって、今からたくさんシナプス結合を増やせます。「食わず嫌い」病を克服して、世界の扉をたたいてみたらどうでしょうか。その準備を地道にしていくことを奨めます。自分の世界観がガラッと変わることは間違いありません。

菰高 SSH では、英語によるコミュニケーションを重視しています。近い将来、英語で研究発表(プレゼンテーション)する生徒が、誕生することを目指して！

